

教科目名 英語特論 (Advanced Course of English)

学科名・学年 : 制御情報工学科 5 年

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ , 学習保証時間 22.5 時間)

担当教員 : 松本慎平

授業の概要			
科学技術,特に情報技術の分野では英語が事実上の共通語である.各種ソフトウェアのマニュアル,最新技術のニュースなど,国際学会の口頭発表,国際的論文誌,国際的協業のためのミーティングなど,英語を必要とする場面は多い.本講義では,科学技術分野における専門性の高い英文の読解力を向上させるための基礎を学ぶ.具体的には,まず簡単な英語で記述されたコンピュータ技術に関するマニュアル, Web サイトを重点的に読解する.そして,こうした読解を繰り返すことにより科学技術英語の特徴を理解する.最後に,専門用語を含む技術英語のライティング技術の基礎を身に付ける.			
達成目標と評価方法			大分高専目標(C2), JABEE 目標(f)
(1)科学技術英語の用語の習得(定期試験)			
(2)科学技術英語の読解技術の習得(定期試験)			
(3)科学技術に関する英語表現と英文作成の基本の習得(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
			【理解の度合い】
1 2	Edsger W. Dijkstra, Go To Statement Considered Harmful, 1968.	○ 構造化プログラミングの基礎的概念を示した論文を読解する.	
3 4	C. E. SHANNON, A Mathematical Theory of Communication, 1948.	○ 情報理論の基礎を示した論文を読解する.	
5 6 7	RFC (Request for Comments) の読解 (793-TCP, 768-UDP, 791-IP, 2616-HTTP/1.1, 1939-POP Version 3, 2821-SMTP, 882-DNS)	○ インターネットのプロトコルやファイルフォーマットを定義した技術仕様の保存、公開形式である RFC の中から,主要な技術を取り上げ読解する.	
8	後期中間試験		
9	前期中間試験の解答と解説		【試験の点数】 点 【理解の度合い】
10	英語論文において,議論を的確に展開するための表現	○ 科学技術に関する英語論文において,議論を展開していく上でよく用いる表現を習得する.	
11	英語論文において,つなぎや修飾語として用いられる表現	○ 一般的な英語論文において,つなぎや修飾語としてよく用いる表現を習得する.	
12 13 14	科学技術に関する外国書の購読 W. J. Cook, W. H. Cunningham, W. R. Pulleyblank and A. Schrijver, "Combinatorial Optimization", John Wiley & Sons, 1998.	○ 科学技術に関する外国書を購読する. ○ Problems and Algorithms ○ Optimal Trees and Paths ○ Maximum Flow Problems ○ Minimum-Cost Flow Problems ○ Optimal Matchings ○ Integrality of Polyhedra ○ Traveling Salesman Problem ○ Matroids ○ NP and NP-Completeness	
15	後期期末試験		
	後期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意		意欲を持って学習すること.英和,和英辞書(電子辞書も可)を必ず持参すること.	【総合達成度】
教 科 書		必要資料をプリントとして配布	
参 考 図 書		辞書	
関 連 科 目		英語特論 , プロジェクト演習 (専攻科)	
総 合 評 価		達成目標の(1)~(3)について 2回の定期試験と4回の課題で評価する.総合評価が60点以上を合格とする. 総合評価 = (2回の定期試験の平均) × 0.6 + 課題(1回10点) × 4	【総合評価】 点